

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-45872

(P2001-45872A)

(43)公開日 平成13年2月20日(2001.2.20)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード*(参考)
A 0 1 G 9/00		A 0 1 G 9/00	B 2 B 0 2 7
A 4 7 G 7/02		A 4 7 G 7/02	A

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平11-262515

(22)出願日 平成11年8月12日(1999.8.12)

(71)出願人 598148197

北川 山三

茨城県つくば市大字松栄85番地45

(72)発明者 北川 山三

茨城県つくば市大字松栄85番地45

Fターム(参考) 2B027 ND01 NE01 TA03 TA08 TA19

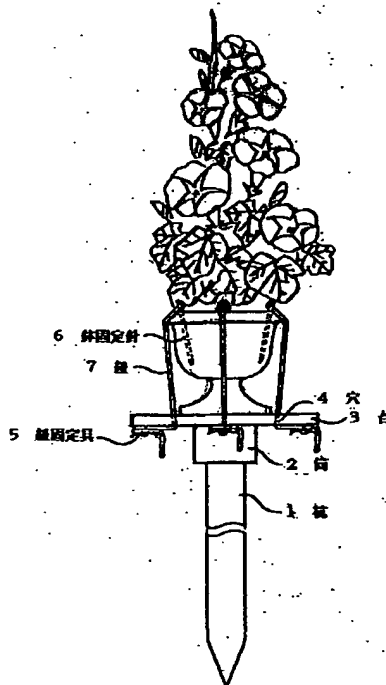
TA25 VA20

(54)【発明の名称】 杭上植木鉢置台

(57)【要約】

【課題】 花壇の空間を有効利用する為に花壇に杭を立て、その上に植木鉢落下防止装置をつけた台を設け、植木鉢の大小を問わず置くことが出来るようにした杭上植木鉢置台を提供する。

【解決手段】 杭(1)の一端に、筒(2)をつけた台(3)を設け、台(3)には方々に穴(4)を開けると共に、その下面には鉢固定針(6)からの紐(7)を止めるための紐固定具(5)を設けて植木鉢の落下防止をはかろうとしたことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 杭（1）の一端に、筒（2）をつけた台（3）を設け、台（3）には方々に穴（4）を開け、下面には鉢固定針（6）からの紐（7）を止めるための紐固定具（5）を設けた杭上植木鉢置台。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は花壇の空間を有効利用するために杭を以て為し、杭上に植木鉢置台を取り付け、鉢もの花木が安定的に置けるよう落下防止装置を備えた杭上植木鉢置台に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、花壇の空間に植木鉢を置くには複数の脚でその台を支えていた。又、落下防止のため台上の植木鉢は紐でくくりつけるか、枠で囲うかしていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これは次のような欠点があった。

（イ）複数の脚で台を支えようとすると花壇の密生した花木を傷める危険があった。

（ロ）植木鉢の落下防止を計るには紐等でくくりつける煩わしさがあつた。

（ハ）枠で植木鉢を囲うものは枠に納まるものしか使えなかった。

本発明はこれらの欠点を除くためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】杭（1）の一端に筒（2）をつけた台（3）を設け、台（3）には方々に穴（4）を開けると共に、その下面には鉢固定針（6）からの紐（7）を止めるための紐固定具（5）を四方に設けて植木鉢の落下防止を図ろうとする杭上植木鉢置台。本発明は、以上のような構成よりなる杭上植木鉢置台である。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について説明する。杭（1）の一端に筒（2）をつけた台（3）を設け、台（3）には方々に穴（4）を開けると共に、その下面には鉢固定針（6）からの紐（7）を止めるための紐固定具（5）を四方に設けて植木鉢の落下防止を図ろうとする杭上植木鉢置台。本発明は以上のような構造で、これを使用する時は、台（3）に植木鉢を載せ複数の鉢固定針（6）を植木鉢の中に差し込み、紐（7）を穴（4）に通し紐固定具（5）にそれぞれ巻き付けて止める。花壇に立てた杭（1）に台（3）の筒（2）をあてがいはいれ込む。

【0006】

【発明の効果】（イ）植木鉢を中心に紐を台の外周に向かって張ることにより安定よく固定できる。

（ロ）植木鉢の内側を固定源とするため鉢の大小に拘わらず使用できる。

（ハ）植木鉢の形態にフィットした穴で緊張固縛できる。

（ニ）紐を幹に絡ませ鉢もろとも紐で張れば鉢物盆栽の根付け固定に役立つ。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の正面図

【図2】本発明の下面の斜視図

【図3】本発明の上面の斜視図

【図4】本発明の鉢固定針及び紐の斜視図

【符号の説明】

1 杭

2 筒

3 台

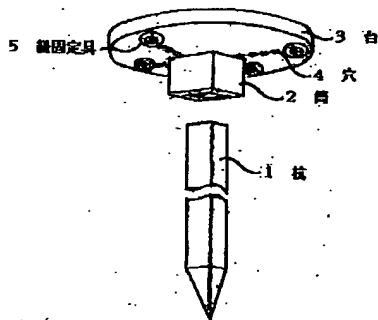
4 穴

5 紐固定具

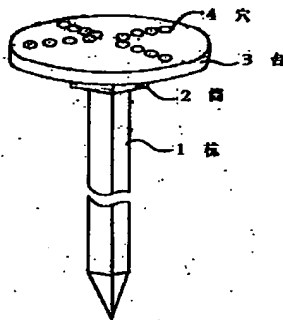
6 鉢固定針

7 紐

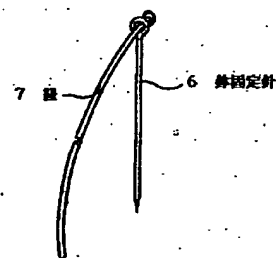
【図2】



【図3】



【図4】



【図1】

